

【オピニオン】★参議院選挙制度改革、もう一つの途 福井県知事・西川一誠

昨年11月26日に出された最高裁判決は、「1票の格差」が最大4.77倍だった2013年7月の参議院選挙を違憲状態と判断した。参院選の違憲状態判決は、1992年選挙、2010年選挙に続き3度目となる。また最高裁は、前回判決と同様に都道府県を単位とした選挙区割りを改めるなど、現行の選挙制度の仕組み自体の見直しを求めている。

これらの判決を受けて、参議院の選挙制度協議会においては隣接する県の選挙区統合の合区案などが検討されている。

一方で判決は投票価値の平等は絶対の基準ではなく、他の政策的目的や理由により国会の裁量で制度を決めることができることを認めている。それにもかかわらずであるが、なぜ都道府県の実態に影響を与える合区による格差是正を考えるのか。



裁判所においては、参議院と衆議院の同質化を問題視しているのである。現在の参議院の実情は衆議院と同様に選挙区に比例代表を組み合わせたという政党重視であり、その立場から定数改正を繰り返してきた。その結果、両院が政治的に同質になっていると裁判所は観念している。一方で、衆議院には定数格差を2倍未満とする基準ができています。参議院が衆議院と変わらない制度であると考えてしまえば、参議院であることを理由に格差の基準を緩めることは難しいことになる。

このような伝統的な論理については前例踏襲的な説明にはなっていない、これらの判決から導き出される結論が、必ずしも選挙区を合区することにはつながる訳ではない。参議院の存立目的や他の重要な理由により衆議院とは政治的に異なる使命を持つという本来の姿に戻れば、投票価値の平等の形式主義的な考え方にも変化が表れるだろう。

そこで、そもそもの参議院の存在意義を考えてみよう。

憲法は、二院制の下で衆議院の優越事項を定める代わりに、参議院には解散のない6年という長い任期を定めている。これは、長期的・総合的な観点からさまざまな法案を審議する「熟慮の府」としての機能を、参議院に期待しているのである。

ところで二院制をとる諸外国では、上院(参議院に相当)の役割はどうなっているか。

アメリカの上院は、人口規模にかかわらず、各州から2人が小選挙区制度により選出される。上院には、条約批准と公務員任命について大統領への助言・承認の権限が与えられている。外交・軍事という長期的視野が必要な事項について下院のチェック機能の行使が期待されている。

ドイツの上院では各州の間接選挙により選出される。州の権益に関する連邦法やEUに関する事項については上院の賛成が必要であり、上院は州の権益を反映させるという役割を担っているのである。

フランスでは、上院は地方公共団体の代表を確保する旨が憲法で定められており、各県の間接選挙により選出される。また、地方公共団体に関する法案については上院に先議権が付与されており、地方代表の院としての役割を担っている。

これらの国々に見られるように、上院はいずれも独自の存在意義をもつように構成されており、1票の格差が大きくても政治問題とはならないのである。

このような政治感覚を、わが国も常識的なこととして受け入れてはどうかと思う。

現在の日本において最も熟慮すべき課題は何かと言え、それは東京一極集中と地域間の格差、それが引き起こす人口減少という一大問題である。この難問解決のためには、地方の側からのイニシアチブによる国民的な議論が鍵となるであろう。

参議院は地方の意見を反映し、また国全体を長期に考える独自性を持つ冷静な立法の府たるべきであり、日本の国土や人口政策に責任を持つ地域代表の役割を担う必要がある。そのためにもふさわしい司法的見解への転換と新しい三権のシステムを作り出す改革が必要である。

いずれにしても現状の人口比例による議席配分のもとでは、衆議院は結果として大都市の代弁になることがどうしても避けられない。大都市にも政治力が集中すればますます人口と国土の不均衡が拡大する。しかし参議院が地方を代表する立場になれば、両院が互いを抑制し合い足らざる不足を補い合うことにより、すぐれた国土政策のバランスを保つことにつながる。選挙定数の具体策はそのような明確な方向性の下に進めるべきだ。

最高裁の判決をこのような見方で読解すれば、判決文は参議院の選挙制度改革について必ずしもはっきり表明していないが司法が無意識に示している新たな途(みち)が見えてくるのである。

(2015年1月13日)

西川一誠(にしかわ・いっせい)氏のプロフィール

1945年福井県生まれ。京都大法学部卒業後、1968年自治省(現総務省)入省。同省税務局企画課長、国土庁官房審議官、福井県副知事などを経て、2003年同県知事に初当選、現在3期目。地方の13県知事で作る「ふるさと知事ネットワーク」の世話役も務める。